

『愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6 巻
動物行動学/愛玩動物学/比較動物学』（改訂第 2 版第 2 刷）
訂正とお詫び

掲載記事中、以下の記述に誤りがございました。ここに訂正させていただくとともに読者の皆様および関係者の方々に深くお詫び申し上げます。

株式会社 EDUWARD Press

2024 年 11 月 11 日

頁	記事タイトル	該当箇所	誤	正
p. 52	動物行動学 第 3 章 社会行動	威嚇および服従の 行動様式 本文右段 上から 4 行目	敵対的行動	敵対行動
p. 57	動物行動学 第 4 章 行動発現の しくみ	ローレンツの心理 水力学モデル 本文左段 下から 1 行目	接触行動	摂食 行動
p. 90	動物行動学 第 5 章 行動の発達 と学習	図 1-5-6 オペラント条件づ けの強化と罰	図内 A 正の強化（ほめる） 行動は増加（ボールを取 ってくる行動が増える） B 正の罰（叱る） 行動は減少（靴をかじる ことが減る） C 負の罰（よいもの[おや つ]がなくなる） 行動は減少（「オスワ リ」の合図に従わない頻 度が減る [=従う頻度が増 える]）	図内 A 正の強化 行動は増加 B 正の罰 行動は減少 C 負の罰 行動は減少 D 負の強化 行動は増加 ※別紙より修正後の図を

			D 負の強化（嫌な[怖い]侵入者が去る） 行動は増加（侵入者に対してより吠えるようになる）	ご確認ください。
p. 218	愛玩動物学 第3章 血統と血統書	犬・猫の血統書の歴史 本文右段 下から15行目	続いて1984年には、	続いて1884年には、
p. 231	愛玩動物学 第4章 愛玩鳥の特徴・生態・飼養管理	キーワード	カロリー：タンパク比	タンパク質/エネルギー
p. 237	愛玩動物学 第4章 愛玩鳥の特徴・生態・飼養管理	4. 飼養管理 ここがPOINT 上から2行目	カロリー：タンパク比	タンパク質/エネルギー
p. 238	愛玩動物学 第4章 愛玩鳥の特徴・生態・飼養管理	セキセイインコの場合 本文右段 下から1行目（赤い文字）	カロリー：タンパク比	タンパク質/エネルギー
p. 239	愛玩動物学 第4章 愛玩鳥の特徴・生態・飼養管理	セキセイインコの場合 本文左段 下から7行目	カロリー：タンパク比	タンパク質/エネルギー
p. 239	愛玩動物学 第4章 愛玩鳥の特徴・生態・飼養管理	オカメインコの場合 本文右段 下から2行目	カロリー：タンパク比は62.5g/calとなる。	タンパク質/エネルギーは62.5g/Mcalとなる。

p. 239	愛玩動物学 第4章 愛玩鳥の特 徴・生態・ 飼養管理	表2-4-1 1行目	カロリー：タンパク比	タンパク質/エネルギー
p. 239	愛玩動物学 第4章 愛玩鳥の特 徴・生態・ 飼養管理	表2-4-1 2行目	最小 (g/cal) 最大 (g/cal)	最小 (g/Mcal) 最大 (g/Mcal)
p. 240	愛玩動物学 第4章 愛玩鳥の特 徴・生態・ 飼養管理	オカメインコの場合 本文左段 上から3行目	カロリー：タンパク比は 31~41g/calとなり、	タンパク質/エネルギーは 31~41g/Mcalとなり、
p. 240	愛玩動物学 第4章 愛玩鳥の特 徴・生態・ 飼養管理	栄養要求量の決定 方法の結論 本文左段 下から16行目	手順2 カロリー：タンパク比	手順2 タンパク質/エネルギー
p. 241	愛玩動物学 第4章 愛玩鳥の特 徴・生態・ 飼養管理	ビタミンの添加 本文左段 上から10行目	カロリー：タンパク比	タンパク質/エネルギー
p. 244	愛玩動物学 第4章 愛玩鳥の特 徴・生態・ 飼養管理	演習問題 問2 F	カロリー：タンパク比	タンパク質/エネルギー
p. 246	愛玩動物学 第4章 愛玩鳥の特 徴・生態・ 飼養管理	解答 問3 下から2行目	カロリー：タンパク比	タンパク質/エネルギー

p. 362	比較動物学 第1章 産業動物 6. 牛に多い疾病 乳房炎	本文右段 上から4行目	乳頭を刺激すると脳下垂体前葉からオキシトシンが～	乳頭を刺激すると 下垂体後葉 からオキシトシンが～
p. 446	比較動物学 第1章 産業動物 第1章6 鶏	図3-1-6-5 鶏の消化器 図の解説文	7. 空腸	7. 回腸
p. 449	比較動物学 第1章 産業動物 鶏	4. 飼養管理 ここがPOINT 2行目	ブロイラーは平飼い、採卵鶏は福祉ケージが基本である。	ブロイラーは平飼い、採卵鶏は 現状、ケージ飼いが主流である。
p. 450	比較動物学 第1章 産業動物 鶏	飼育方法	ブロイラーの飼育は平飼い、採卵鶏は基本的に止まり木、砂浴び場、産卵巣箱（場所）をもつ福祉ケージ（エンリッチドケージ）が主であるが、放し飼いによる付加価値をつけた鶏卵を扱う養鶏場も増えている。	ブロイラーの飼育は平飼いで、 採卵鶏は止まり木、砂浴び場、産卵巣箱（場所）をもつ福祉ケージ（エンリッチドケージ）が動物福祉に配慮した方式として登場したが、現状は各ガイドラインに沿った飼育密度でのケージ飼育が主流である。放し飼いによる付加価値をつけた鶏卵を扱う養鶏場も存在する。
p. 450	比較動物学 第1章 産業動物 鶏	飼育方法 CHECK! 品種と飼育方式 下から1行目	・採卵鶏：福祉ケージ	・採卵鶏： ケージ飼い

p. 454	第 1 章 6 鶏 演習問題	問 2	現在行われている鶏の飼育方式がすべて記されているものとして、正しいのはどれか。 ① 福祉ケージ、ケージ飼い ② 福祉ケージ、庭飼い ③ 福祉ケージ、ケージ飼い、平飼い ④ 福祉ケージ、放し飼い ⑤ 福祉ケージ、ケージ飼い、庭飼い	現在行われている鶏の飼育方法として、 <u>誤っている</u> のはどれか。 ① ケージ飼い ② 平飼い ③ 福祉ケージ ④ 放し飼い ⑤ 脚皮での紐による固定飼い
p. 455	第 1 章 6 鶏 演習問題 解答	問 2	正解③ 福祉ケージ、ケージ飼い、平飼い ブロイラーの飼育は平飼い、採卵鶏は基本的に福祉ケージ（止まり木、砂浴び場、産卵巣箱〔場所〕をもつ）が主である。	正解⑤ 脚皮での紐による固定飼い ブロイラーの飼育は平飼い、採卵鶏は基本的に ケージ飼育が主流であるが、放し飼いによる付加価値を付けた鶏卵を扱う養鶏場も増えている。また、近年ではヨーロッパではアニマルウェルフェアに配慮した飼育でなければ許可されなくなり、エジンバラ大学が、鶏が本来行いたいであろう行動を行えるように設計した福祉ケージを発表した。
p. 476	比較動物学 第 2 章 実験動物 第 2 章 1 実験動物学 総論	動物実験の結果を左右するもの 本文左段 下から 15 行目	$R = (A+B+C) \times D + F$	$R = (A+B+C) \times D + E$

p. 530	第 2 章 実験動物学 演習問題	問 2 選択肢②	②実験動物の基本体系を構築したのはフランスのクロード・ベルナードである。	②実験動物の基本体系を構築したのはフランスのクロード・ベルナールである。
--------	------------------------	-------------	--------------------------------------	--------------------------------------

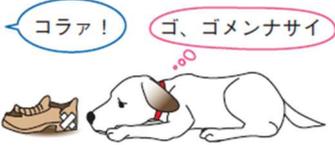
	提示操作	除去操作
報酬刺激	<p>A 正の強化 行動は増加</p> 	<p>C 負の罰 行動は減少</p> 
嫌悪刺激	<p>B 正の罰 行動は減少</p> 	<p>D 負の強化 行動は増加</p> 

図1-5-6 オペラント条件づけの強化と罰

オペラント条件づけの結果として行動が増加することを強化、逆に減少することを罰と呼び、それぞれ提示か除去かという操作の違いにより、正と負に分類される。